

## 19 外郭団体

### 1 概要（令和6年7月1日現在）

(1) 市から基本財産又は資本金相当額の25%以上を出資している法人(市が設立した地方独立行政法人を除く)

団体名	代表者名	基本財産・出資合計 金額(千円)	市からの財政支出		主な事業
			市の出資・出捐		
			上段:金額(千円)	上段:金額(千円)	
		下段:割合	下段:割合		
(一財)岡山市勤労者サポートプラザ	理事長	100,000	100,000	5,000	中小企業勤労者のための福利厚生事業
	林 恭生		100.0%	4.2%	
(公財)岡山市公園協会	理事長	114,000	57,000	503,248	緑化普及促進事業, 緑化基金管理, 都市公園指定管理業務等
	林 恭生		50.0%	88.7%	
(公財)岡山市シルバー人材センター	理事長	51,000	50,000	280,562	シルバー事業, 会員への各種研修・就業相談
	信木 修		98.0%	36.7%	
(公財)岡山文化芸術創造	理事長	526,145	454,459	1,145,850	岡山シンフォニーホール・岡山芸術創造劇場の管理運営, プロオーケストラ, ジュニアオーケストラ, アーツフェスティバル運営等
	越宗 孝昌		86.4%	80.3%	
(一財)岡山市水産協会	代表理事	250,000	230,000	0	栽培漁業の推進, 漁場の環境保全, 地場産水産物の普及啓発活動
	豊田 安彦		92.0%	0%	
(公財)岡山市ふれあい公社	理事長	100,000	100,000	4,405,772	福祉・健康・生涯学習に関する事業, ふれあいセンター・ウェルポートなださきの管理運営
	那須 正己		100.0%	79.5%	
(公財)岡山県下水道公社	理事長	30,000	9,853	0	児島湖流域下水道の維持管理業務の受託に関する事
	山本 賢介		32.8%	0%	
(一財)吉井川水源地域対策基金	理事長	105,673	34,695	3,720	苫田ダム建設により水没する地域の振興事業
	清水 一仁		32.8%	13.6%	
(株)岡山コンベンションセンター	代表取締役社長	99,000	50,000	0	岡山コンベンションセンター, ママカリパーキングの運営管理
	小野 典生		50.5%	0.0%	
岡山市市場冷蔵(株)	代表取締役社長	15,000	5,000	0	岡山市中央卸売市場における冷蔵倉庫業
	内山 三郎		33.3%	0%	
岡山港埠頭開発(株)	代表取締役	22,000	7,000	0	岡山港の港湾施設の指定管理(上屋施設の管理・港湾施設の使用許可)等
	阿部 崇		31.8%	0%	
岡山市土地開発公社	理事長	20,000	20,000	0	公共用地・公用地の先行取得, 管理, 処分
	竹中 正博		100.0%	0.0%	
岡山都市開発(株)	代表取締役	2,950,000	1,540,000	0	リットシティビル駐車場等の管理及び運営
	林 恭生		52.2%	0%	
(一財)岡山市スポーツ協会	会長	62,355	30,000	52,835	生涯スポーツの普及振興及び市民の健康・体力づくりの推進等
	原 憲一		48.1%	88.6%	
(一社)岡山市老人クラブ連合会	会長	20,790	10,000	7,405	老人クラブの育成指導及び連絡調整
	遠藤 剛		48.1%	69.9%	

(2) 市から継続的に人的又は財政的な関与を受け, かつ, 市の政策・施策の遂行と密接な関係を有する法人

(公社)おかやま観光コンベンション協会	会長	0	0	336,676	コンベンション・観光客の誘致活動, 岡山城・足守プラザ等の管理運営
	石井 清裕		0.0%	49.4%	
(社福)岡山市社会福祉協議会	会長	45,284	0	622,161	社会福祉関連事業の推進, 社会福祉関連施設の管理運営
	内田 通子		0.0%	74.6%	

(注1) 「基本財産・出資合計」, 「市の出資・出捐」, 「市からの財政支出」は令和5年度決算ベースの金額

(注2) 「市からの財政支出」は出資金及び出捐金を除く, 委託料, 指定管理料, 補助金, 負担金, 交付金などの市の支出金

(注3) 「市からの財政支出」の割合は, 経常収益の合計における財政支出額の割合

## 2 経営状況

団体名	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		決算(千円)	決算(千円)	決算(千円)	概況
(一財)岡山市勤労者サポートプラザ	当期収支	▲ 1,241	▲ 3,260	▲ 3,224	令和5年度は、コロナ禍対策としてニーズの高い事業に一時的に予算を重点的に配分・執行した。その一方、コロナを機に廃業する会員企業も多くみられ、会員数の減による収入減により、単年度の赤字が生じた。今後は、会員数の維持・拡大につながるようなサービスの見直しと加入促進事業の強化により、安定した経営に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	95.98%	92.13%	92.34%	
(公財)岡山市公園協会	当期収支	2,559	2,379	497	岡山市総合文化体育館休館による利用料金の減収があったが、休館に伴い電気・ガス料金等の光熱水費も減少したこと、加えて岡山市による物価高騰支援や効率的な経費支出に努めたことで、令和4年度と同様黒字を確保。今後も引き続き効率的な運営に努める。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	74.77%	69.74%	75.43%	
(公財)岡山市シルバー人材センター	当期収支	58,143	53,626	2,472	売り上げについては、公共部門は前年売上げを上回ったが、民間部門が前年売上げを下回ったことから、全体として前年売上げを下回った。ただし、令和5年度より新たに就業コーディネーターを配置する等、会員の就業機会の開拓に努めており、通期では黒字である。今後も引き続き経営状況の安定化に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	73.67%	77.82%	77.42%	
(公財)岡山文化芸術創造	当期収支	3,354	▲ 9,058	11,834	令和5年9月に岡山芸術創造劇場が開館し、劇場指定管理料収入の増加だけでなく、岡山市負担金事業である開館事業収入が大きな柱となった。法人運営事業の収支改善、岡山フィルハーモニック管弦楽団の大型依頼公演の受注及び劇場開館に伴うプレイガイド収入の増加により、当期収支は前年度の赤字から黒字に転じた。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	73.48%	78.71%	68.58%	
(一財)岡山市水産協会	当期収支	▲ 833	▲ 55	30	国債の減償償却等により基本財産は減少しているが経営は安定している。今後も効率的な運営に努めて行く。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	99.95%	99.95%	99.95%	
(公財)岡山市ふれあい公社	当期収支	▲ 18,525	4,414	▲ 54,528	介護保険事業において、サービス供給量の減少に伴い減収となったが、一方でサービスの継続的な提供を維持するために、職員の確保・定着に向けた処遇改善を行うなど固定費が増加したことで、当期収支差額が赤字となった。運営体制の効率化や提供事業割合の見直しなど、中長期的な事業の見直しに着手しており、引き続き財政状況の改善に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	41.06%	41.21%	37.80%	
(公財)岡山県下水道公社	当期収支	195	80	▲ 77	県から事業委託を受け安定した経営が行われており、今後も効率的な施設管理や団体運営が求められる。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	60.03%	51.41%	44.18%	
(一財)吉井川水源地域対策基金	当期収支	▲ 3,056	▲ 5,151	▲ 4,770	当期収支がマイナスとなっているが、公益目的支出計画に従い、鏡野町へ交付する水源地域振興事業補助金へ充当するため計画的に基金を取り崩していることが要因であり、経営状況は安定している。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	100.00%	100.00%	100.00%	
(株)岡山コンベンションセンター	当期収支	▲ 46,764	▲ 2,719	49,571	新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類に引き下げられたことにより、売上高はコロナ禍以前の水準の9割近くに回復したものの、経常利益ベースでは同じく5割を割り込む状況となっていることから、コンベンションのみならず、展示会やイベントの誘致に取り組み、多角的な営業の強化等を進める。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	89.54%	90.65%	89.44%	
岡山市市場冷蔵(株)	当期収支	1,323	▲ 2,957	4,279	人員削減・保守契約の見直しや製造原価の削減など経費節減に努め、当期収支はプラスとなった。今後も寄託物の在庫量の増加を図り、効率的な運営に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	88.68%	69.78%	64.33%	

団体名	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		決算(千円)	決算(千円)	決算(千円)	概況
岡山都市整備(株) ※注2	当期収支	▲ 5,570	▲ 68,453		令和4年度には清算に係る事務を行い、令和5年3月24日に清算が終了した。
	累積欠損金額	0	0		
	自己資本比率	94.48%	98.93%		
岡山港埠頭開発(株)	当期収支	15,173	15,672	13,130	効率的な施設管理ができており、経営状況は安定しているが、今後も引き続き、効率的な経営が求められる。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	73.88%	75.29%	76.50%	
岡山市土地開発公社	当期収支	▲ 1,138	▲ 779	▲ 2,953	平成18年度から平成22年度まで実施した「岡山市土地開発公社の経営の健全化に関する計画」における目標は、平成21年度に達成し、その後も総務省が定める「簿価総額を、設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値」の基準を満たしており、経営の健全化を図っている。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	19.27%	19.25%	19.15%	
岡山都市開発(株)	当期収支	▲ 9,570	4,721	6,032	駐車場の運営は昨年に引き続き、一般駐車の利用台数が増加しており、新型コロナウイルスの影響を受ける以前(2019年度)と比べ、売上高はほぼ同水準まで回復した。今後も引き続き立地の優位性を活かして駐車場利用者の確保に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	99.28%	99.18%	99.24%	
(一財)岡山市スポーツ協会	当期収支	1,168	952	319	令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響を受けたが、民間助成金等の活用を積極的に行った。令和6年度もより効率的な団体運営を行い、岡山市におけるスポーツの普及振興に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	82.59%	87.51%	95.56%	
(一社)岡山市老人クラブ連合会	当期収支	905	414	▲ 167	クラブ数・会員数の減少により、収入が減少し、令和5年度で収支が初めてのマイナスとなった。今後は健全な運営を図っていく必要がある。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	82.93%	83.17%	80.06%	
(公社)おかやま観光コンベンション協会	当期収支	▲ 8,685	▲ 570	13,542	新型コロナウイルスの収束後の経営努力もあり、当期決算は黒字へ回復した。引き続き、自主事業の効率化などにより経営の安定化を図るとともにコンベンション誘致の強化、他団体との連携等を進め、より効果的な公益目的事業に取り組む。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	51.10%	46.10%	49.58%	
(社福)岡山市社会福祉協議会	当期収支	1,904	▲ 7,532	▲ 319	令和4年度は創立100周年記念事業等に伴う支出が当期収支に影響を及ぼしたが、令和5年度は概ね改善した。今後も引き続き、経営の安定化を図るため支出削減や効率化に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	73.11%	68.72%	66.98%	

(注1) 財団・社団法人の当期収支については、正味財産増減計算書の当期一般正味財産増減額の数値

(注2) 岡山都市整備株は、令和4年3月28日に解散し、令和5年3月24日に清算終了